

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	海岸漂着物地域対策推進事業		<b>担当部局庁</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度(1号補正)		<b>担当課室</b>	水環境課海洋環境室		海洋環境室長 坂本幸彦		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全含む)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律第29条		<b>関係する計画、通知等</b>	海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	本事業は、地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物地域対策推進事業)を、都道府県に交付して基金を造成し、この基金を活用することにより、海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための地域計画の策定に関する事業、海岸漂着物の回収・処理及び発生抑制対策等に関する事業を実施することを目的としている。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	都道府県に対し海岸漂着物の回収・処理及び発生抑制対策等に関する次に掲げる事業の支援を行う。 (1)都道府県が自ら実施する事業であって、地域計画の策定及び改定に必要な調査等、海岸漂着物等の対策の推進を図るための事業 (2)都道府県が自ら、若しくは市町村への補助により実施する事業であって、海岸漂着物等の回収・処理に関する事業(民間団体等と協力・連携して実施する事業を含む。)及び海岸漂着物等の回収・処理に係る調査研究の事業 (3)都道府県が自ら、若しくは市町村への補助により実施する事業であって、海岸漂着物等の発生に係る普及・啓発、海岸漂着物等の発生原因・抑制等に係る調査、発生抑制のための関係者間の連携・交流等、海岸漂着物等の発生抑制対策に関する事業(民間団体等と協力・連携して実施する事業を含む。) (1)は補助率1/2 (2)、(3)は補助率10/10							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	9,999	-	-	
		繰越し等	-	-	▲ 9,988	9,988	-	
	計	-	-	11	9,988	-		
	執行額	-	-	0	-	-		
執行率 (%)	-	-	0	-	-			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (H25年度)	
	海岸漂着物の回収実績 ※地域GND基金事業(H21~H23)回収・処理実績:執行額のうち約8割(約40億円)で約6万t回収・処理を実施(約7万円/t)。100億円の8割(80億円)を上記の処理単価で、1年当たりの回収・処理量を換算すると約6万t。		成果実績	t	約1万 ※GND実績	約4万 ※GND実績	とりまとめ中	約6万
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	事業実施主体数		活動実績 (当初見込み)	都道府県	-	-	-	33
<b>単位当たりコスト</b>	約7万円/t		算出根拠	総事業費×0.8÷2(年)÷6(万t) ※8割が回収・処理に使用されると仮定				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	海岸環境の悪化を防ぐための緊急的な措置として、国が、海岸漂着物処理推進法に基づき作成された地域計画に基づき実施する海岸漂着物対策を補助すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	必要性等に応じて補助率を設定し、補助対象事業に限定して支出する。 本件は年度内の執行が間に合わず繰越をしたが、繰越に適さない事務費分について不用が発生した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
事業性の有効	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	海岸漂着物対策を実施している都道府県と調整を行い、補助を行っていく。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【予定】

環境省  
9,988百万円

〔 交付要綱・要領作成 〕



【申請・補助】

都道府県

〔 基金の造成  
海岸漂着物対策事業の実施  
申請書・報告書作成 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

現在、交付申請、交付決定等の  
 手続き中

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2		現在、交付申請、交付決定等の手続き中			
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					